



◆◆◆◆◆ コウノトリから学ぶこと ◆◆◆◆◆



全校朝礼(7/1)
野外コウノトリ(安養寺町)のライブ映像を全校児童に見せながらの講話

皆さんは、絶滅危惧種という言葉を知っていますか。聞いたことのある人は、現在、日本にどれくらいの絶滅危惧種がいるか知っていますか。

国の調査によると、日本の絶滅危惧種(絶滅が心配されている生物)は、3716種です。この中には、校舎周りの田んぼに姿を見せてくれるコウノトリも入っています。

6月21日、安養寺町の人工巣塔で生まれたコウノトリのひな4羽のうち、「やまちゃん」「さーくん」の2羽が巣立ちました。このコウノトリの巣立ちには、地元の人たちの地道な努力がありました。なぜこのような努力が必要なのでしょう。

現在、とても速いスピードで絶滅危惧種が増えています。その原因は、私たち人間が生きていく上での様々な活動にあります。たくさんモノを作るため

に自然界にある材料を使い、人が住んだり遊んだりする場所を作るために森林伐採を行い、そうやって豊かな自然がどんどん少なくなっていくからです。また、農作物を作るための農薬や化学肥料の使用、生活排水によって土地や水が汚染され、生き物のすみかまで奪われていきます。他にも様々な原因がありますが、私たちの生活が多く生き物の命をおびやかす、地球全体のバランスをくずしてしまっているのです。

こうした状況を改善して、地球を守るためには、私たちがみんなで協力して、一人一人ができることをするしかありません。地球を守ることは、私たち自身や、未来に生まれてくる人たちを守ることに繋がります。

だから、私たちの地域では、絶滅危惧種であるコウノトリを増やそうとがんばっています。日本の絶滅危惧種3716種のうちの、たった1種類かもしれません。しかし、この1種類を守ることは、豊かな自然を取り戻すための一歩で、大きな地球環境問題に立ち向かっているということでもあります。とてもすごいことなのです。

農薬や化学肥料を極力使わないお米作りには、地元の方々をはじめ、皆さんも取り組んでいますね。他にも、モノを大切にゴミを減らす、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を減らす、環境に優しい商品を選ぶなど、私たちにできることは身近なところにたくさんあります。環境について学ぶことも、とても意味のあることです。コウノトリの姿を見ながら、人と生き物が共に生きる豊かさを感じ、私たちも自然の中で、コウノトリたちと同じように生かされているんだということを忘れないでほしいと思います。

<7月の生活目標「正しい言葉づかいをしましょう」>



ある大きな大会で、優勝を争っているプロゴルファーのタイガーウッズ選手。対戦相手が、これを外したら自分の優勝が決まるという状況で、あなたならパットを打つ相手に何を願いますか？タイガーウッズ選手は、『入れ!』と強く願っていました。あえて対戦相手の成功を望んだのです。相手のプラスイメージは自分にもいいイメージにつながります。ふわふわ言葉であふれる白山小学校にしましょう。

<夏に気をつけてほしい病気の熱中症>

- 体温調節ができなくなり、めまいや筋肉のけいれん、吐き気などが起きます。
- 暑い中で運動したり、気温や湿度が高かったりしたときになりやすいです。
- 朝ご飯を食べる、夜はぐっすり寝るなど規則正しい生活が大切です。
- 運動してたくさん汗をかいているときは、スポーツドリンクを飲むのがよいです。
- まさかのときに備え、体の熱を逃がして体温を下げる方法を覚えておきましょう。

